

医療法人社団悠仁会羊ヶ丘病院 勤務医負担軽減計画

勤務医の勤務状況等 2020年3月現在	これまでの取組み及び今後の目標
1. 医師数 常勤10名 非常勤12名 2. 他医療機関からの当直医師数 1名 3. 当直回数 平均月2.3回（最大5回、最小1回） 医師により回数のばらつきがあった	当院では、手術件数が2015年で2,445件、2016年で2,445件、2017年で2,601件、2018年2417件、2019年2,538件とこのような現状の中で医師の負担軽減を進めるためのコメディカルを含めた協力体制として、以下の取組みを実施した。 1. 医師作業補助者（メディカルクラーク）の導入 2. 医療連携室の立ち上げ 今後も医師が担っていた業務等の多職種への分担を進めており、これを推し進めることを目標とする。

項目	病院勤務医の負担軽減・処遇改善に対する具体的な取組み項目	具体的内容
看護師	入退院業務のサポート体制の強化	○患者相談室・入退院支援室の設置 ・疾患別パンフレットを使用しオリエンテーションを行う ・入院中に行われる治療、検査及び入院生活についての説明
	認定看護師を活用した、診療補助	○認定看護師の配置 ・骨粗鬆症患者への診療に必要なデータ整理と医師への報告システム
薬剤師	薬剤師による術前休薬の確認	○医薬品情報管理室と医師との情報共有 ○医師のみではなく多職種にも情報共有 ○看護師と共同でチェック体制の強化
	医薬品に関する情報提供の強化	○新規医薬品情報、添付文書改定情報等の医薬品情報の集約、その情報伝達
医師作業補助	医師事務作業補助者の配置見直し	○外来業務と兼務し病棟業務を行うよう業務マニュアルの見直し ○看護部、医事課との連携強化
	医師事務作業補助者のスキルアップ	○整形外科専門分野にかかわる研修を行う
	診療、治療に関するデータ収集・管理体制の強化	○医師によるデータ収集、管理方法の研修会を行う ○資料作成のための研修会実施、メディカルクラーク自身の学会活動に積極的に参加する
医師	研修医の採用促進	○専門医研修プログラム協力病院として、後期研修医の採用、募集を促進
	福利厚生の一層の充実	○ワークライフバランスの促進 院内に設置されている親睦会により各種イベントの企画・実行